



【活動報告】「関西 PHP・SDGs 友の会」有志で 大阪・関西万博 2025 視察ツアーに参加しました！



2025 年 4 月 29 日（昭和の日）、前日の雨が上がり、快晴の空のもと、「関西 PHP・SDGs 友の会」の有志 4 名とそのご家族 1 名の計 5 名で、「大阪・関西万博 2025 日帰りバスツアー」に参加しました。なお、私は現在、JR 新大阪駅と大阪駅で「まちボランティアガイド」としても活動しています。

当日は 11:30 に阪急インターナショナルホテル前に集合。点呼を終えた後、バスは梅田を出発し、難波でさらに観光客をピックアップ。夢洲の西ゲートへと向かいました。車内では添乗員さんから、入場方法や当日のスケジュールについて案内があり、初めての万博訪問にも安心感がありました。

12:40 頃、西ゲートに到着。ここでまず、空港のような厳重な手荷物検査を通過します。一人ひとりが「一日券」の QR コードを提示し、スムーズに入場完了。万博会場での一日が、いよいよ始まりました！

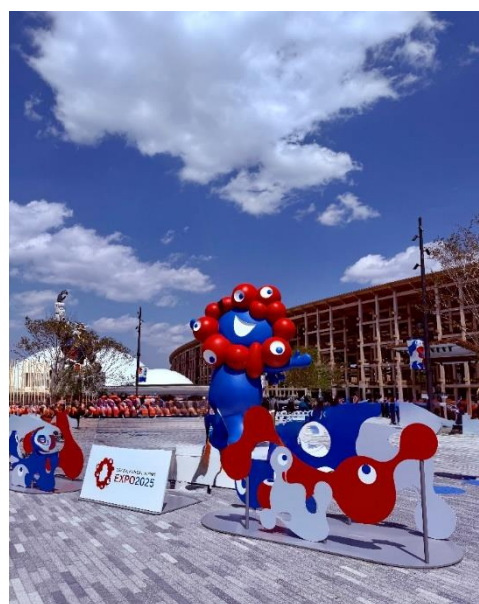


まずは、大屋根リングの下で持参した阪神百貨店お取り寄せの「まつおか」さんのお弁当でランチタイム。



その後、エスカレーターで大屋根リングの上に上がり、会場全体を見渡しながらの散策を楽しみました。途中、近畿大学水産研究所の「近大卒の魚と紀州の恵みレストラン」も視察。先進的な水産研究の成果を感じることができました。

東ゲートゾーンにある旅行社に予約された「三菱未来館」へ。“人類の生命の起源から火星への未来の旅”まで、壮大な映像とストーリーに圧倒されました。



会場内の東ゲートの「オフィシャルストア」ではお土産を購入し、隣接する「ローソンカフェ」ではコーヒーやソフトクリーム、コーラなど、各自が思い思いの休憩を楽しみました。カ

フェから夢洲の海に夕陽が沈む美しい光景を眺めながら。



19:10 からは、SUNTORY「ウォータープラザ」で開催された幻想的な水上ショーを鑑賞。小澤名誉顧問も、頼れる相棒の杖とともに“約16,000 歩”を見事に歩ききられました。ちなみに、私たちのグループの最年長は 89 歳。

大阪・関西万博 2025 が、シニア世代にも優しく配慮された会場であることを、改めて実感した一日となりました。



SDGs の学びとして「アラブ首長国連邦パビリオン」を訪問。自然とともに暮らすアラブの人々の知恵と未来への挑戦を、映像と展示で深く学ぶことができました。また、パビリオンやボランティアの皆さん、国内外からの来場者とのふれあいと笑顔、小さな親切も、この日の大きな収穫となりました。

2026 年は全国 PHP 友の会が創設 50 周年を迎える節目の年。大屋根リングの下で、私たちは“未来のありたい姿”について語り合いました。

皆さまもぜひ「大阪・関西万博 2025」で、未来を感じ、ともに語り合ってみませんか？松下幸之助翁の PHP の精神が息づく、新たな一歩が、ここから始まります。

(文責：関西 PHP・SDGs 友の会 会長
金原 由香)

